



コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和3年5月28日 NO.4
校是「和致芳」

「みんながなかよく高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう」

児童会総会もオンラインで。

致芳小児童会のめあては～笑顔の花を咲かせよう！～

今年度の児童会の方針をみんなで確認する児童会総会が20日に行われました。今回は一堂に集まって密になるのを防ぐため、各教室をオンラインで結んで行いました。各専門部委員長から今年度のめあて、日常活動、イベント活動の説明がありました。今年の児童会のめあては「笑顔の花を咲かせよう！」とてもすてきなめあてにしてもらいました。各委員会の活動を通して、一人ひとりの児童のめあてに向かっての生活を通して笑顔の花がたくさん咲く致芳小学校にしていきたいものです。顔を見てえがおであいさつする子ども達が多くなってきました。



親子葉山登山にむけて学習会を行いました。

5月24日に PTA 親子行事・葉山登山に向けての事前学習会が行われました。講師は白兔の葉山神社宮司である嶽本邦丸さんです。この登山は5年生の親子行事として伝統にもなっています。昨年はコロナ禍で残念ながら実施できませんでした。今年は5年生と昨年実施できなかった6年生の2つの学年で登ります。嶽本さんから、西山連山(朝日連峰)の成り立ちや山頂にある葉山神社のお社について、さらに登山ルートと見どころ、葉山神社が地域に果たす役割など、古くから地域の神様の山として

あがめられてきたことを教えていただきました。田畑の水の源として、心の支えとしてこの地域の人たちを支えてくれた山、四季折々に美しい表情を見せる葉山。登山は今週末29日です。



コロナ禍で学校に求められるものは何か？

いまこそ「和致芳の掟」(H25 致芳小児童会作成)

近隣の市町村、そして市内でもコロナウイルス感染者が出ています。まさに「いつ・どこで・誰でも」そうなる可能性があります。学校で大切にしたいのは、自他の「いのち」はかけがえのないものだということです。さらに、身近に迫り、まだ学校内の児童生徒が感染していない今こそ「差別しない・仲間をいじめない」ことを確認することです。市長さんや教育長さんからのメッセージにもあるように、一番苦しんでいるのは感染された方ご自身とその家族です。苦しみ、困っている方の心に思いを寄せること、それが私たちにできることです。致芳小学校には、「和致芳の掟(おきて)」があります。平成25年に致芳小児童会が作成したものです。「いじめをなくしましょう・いじめに気づいたら勇気をもって止めましょう・相手の気持ちを考えて『ふわふわ言葉』を大切にしましょう・かげぐちはやめましょう」この4つが掟です。いじめは許さないという決意が子どもたちの宣言として共有されていることはわたしたちの学校の誇りです。



それが私たちにできることです。致芳小学校には、「和致芳の掟(おきて)」があります。平成25年に致芳小児童会が作成したものです。「いじめをなくしましょう・いじめに気づいたら勇気をもって止めましょう・相手の気持ちを考えて『ふわふわ言葉』を大切にしましょう・かげぐちはやめましょう」この4つが掟です。いじめは許さないという決意が子どもたちの宣言として共有されていることはわたしたちの学校の誇りです。

いまこそ「自ら学ぶ力」を子ども達に。

昨年の学校研究のまとめにも載せた文章です。子ども達につけたい力は「自ら学ぶ力」。課題を自分で見つけて、わかるようになることです。職員会議でも再確認しました。

「ああ、消しゴムで消してしまうのか」

「ああ！もったいない。消してしまうのか？」「せっかく、まちがいを見つけたのに！」授業を見ながら心の中でつぶやく。本当の『勉強・学び』とは、わからないことがわかるようになること、できないことができるようになることだと考える。だとしたら、「まちがい、つまずき」を大切にしたい学校であり、授業でありたい。教師が「正解」を善いものとして、「まちがい、つまずき」を悪いものと考えている間は、子どもはまちがいを隠し、消しゴムで消して正解を書き直し、赤丸をつけなおして正解であったことにする。でもそれでは、また同じところをまちがってしまう。そして何度もそれを繰り返すことになる。

そこで「自分だけのノート」

「まちがいのノート」とか「やり直しノート」とか、できれば『つまずき発見お宝ノート』など自分なりの素敵な名前を堂々と付けたノートを作り、復習を自分でできるようになりたいものだ。そして、学校は、つまずいた問題や課題をしっかりとやり直しできる時間と雰囲気をもったところでありたい。

長井市では子ども一人に1台タブレットを整備していただいています。調べ学習もネットでもどこにいても自分で学ぶことができます。条件が整えば、オンライン授業も可能です。そして、タブレットの活用で、書くことが苦手な子ども、話すことが苦手な子どもにとっても学びの可能性が広がります。



致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。カラーでご覧いただけます。こちらのQRコードからどうぞ。

